

歴史地震から 防災を考える

— 東日本大震災を踏まえて —

東日本大震災は、地層や歴史に刻まれた過去の地震や津波を知ることが地震国の国民にとって如何に重要であるかを訴えています。歴史地震への理解は何ものにも勝る地震への備えです。歴史上たびたび地震災害にみまわれてきた新潟県の方々も他人ごとではありません。地震学、地質学、歴史学の専門家が一堂に会して語る歴史地震の話に耳を傾け、是非、あなたの防災意識のベースを固めてみてください。

▶ 2011年 9月17日(土) 13:30~17:00

▶ 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

(新潟市中央区笹口 1-1 プラールカ 1 2F)

▶ 定員100名(当日受付) ▶ 参加無料

主催／歴史地震研究会

共催／新潟大学災害・復興科学研究所

後援／日本地震学会、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会

▲2011年東日本大震災(仙台)

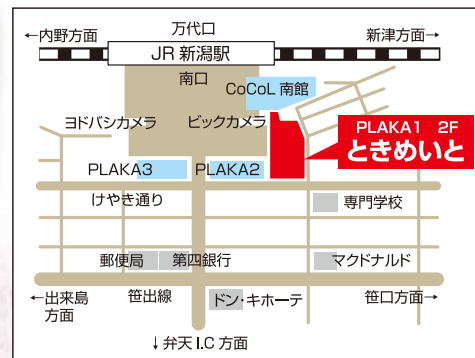
▲1964年新潟地震

▲2011年東日本大震災(陸前高田)

▲2011年東日本大震災(仙台)



▲日本三代実録



▲1751年高田地震(新潟・上越)

▲1964年新潟地震



▲1751年高田地震・名立崩れ

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

— 講演 —

宍倉正展 (産業技術総合研究所)

「貞観津波と東北地方太平洋沖地震」

松浦律子 (地震予知総合研究振興会)

「日本海沿岸での過去の津波災害」

矢田俊文 (新潟大学)

「明応地震の津波被害と高田地震の地盤災害」

卜部厚志 (新潟大学)

「新潟地震の液状化と中越地震の地盤災害」

司会 武村雅之 (小堀鐸二研究所)

お問い合わせ

新潟大学災害・復興科学研究所 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 TEL 025-262-7057 FAX 025-261-1699